

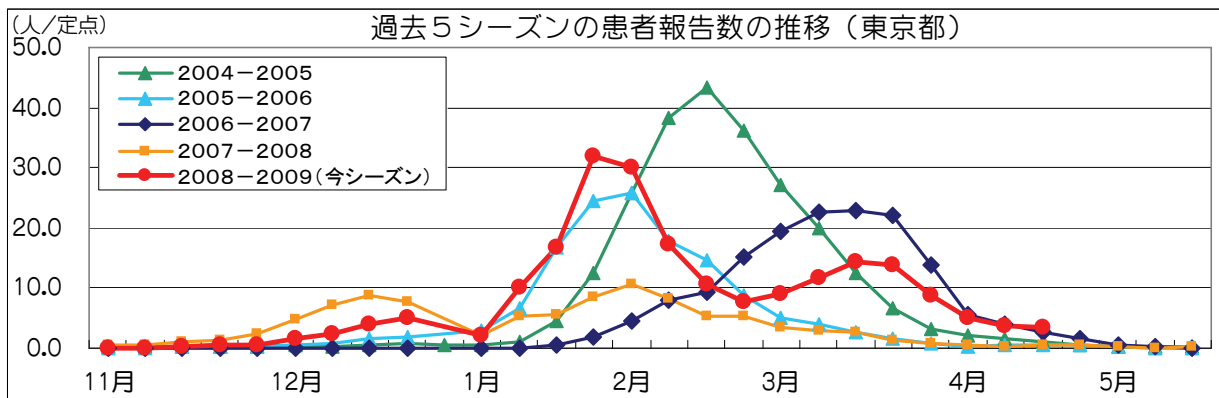
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

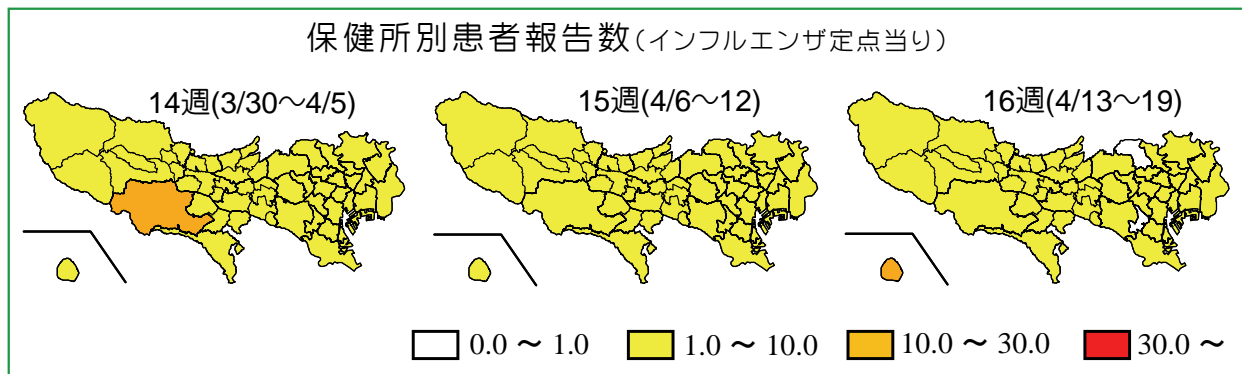
今号(第17号)のトピックス

- ・第16週(4月13日～19日)のインフルエンザ患者報告数は 989人、
定点当たり 3.46人(去年同期 141人、定点当たり 0.49人)
- ・7区7市2町でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖
- ・3県でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が10人を超える
- ・第16週(4月13日～19日)における東京都の流行規模は、全国で25位

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第16週(4月13日～19日)の患者報告数は東京都で 989人、定点当たり 3.46人です(去年同期 141人、0.49人)。定点当たり報告数は、第12週から5週続けて減少しています。

第16週における全国の患者報告数は19,515人、定点当たり 4.10人です。

2 都内学校の学級閉鎖状況

4月13日～19日に、千代田、台東、墨田、中野、杉並、豊島、足立、八王子、武蔵野、調布、町田、小金井、福生、西東京、奥多摩、大島の7区7市2町でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-12週 (9/1-3/22)	765	351	216	99	63
13週 (3/23-29)	15	8	0	0	8
14週 (3/30-4/5)	14	9	1	2	6
15週 (4/6-12)	32	12	3	2	7
16週 (4/13-19)	27	11	2	1	8
合計			222	104	92

表2. オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

調査方法	A/H1N1分離株	耐性株
感染症発生動向調査	33	33
学級閉鎖等	20	20

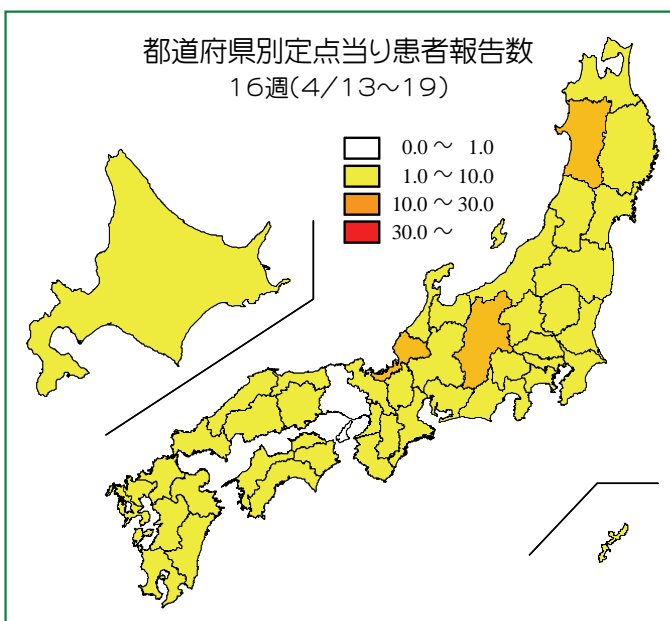
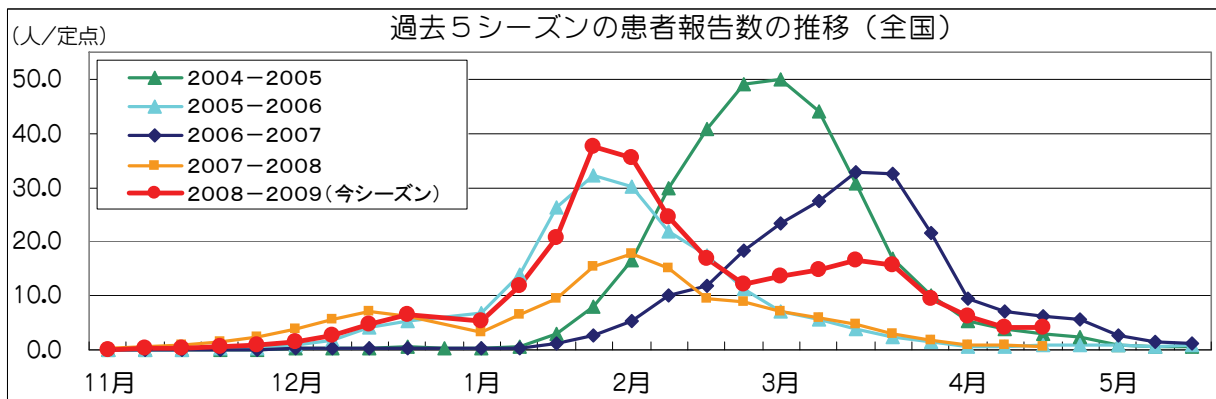
3 東京都の検査情報

(2008年9月以降)

4月19日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、A H 1 亜型が222件、A H 3 亜型が104件、B型が92件PCR法により検出されています。

4月22日までに感染症発生動向調査事業等で当センターに搬入された検体から分離したインフルエンザウイルス(A/H1N1)53株について、オセルタミビル耐性遺伝子の解析を行ったところ、すべての株からオセルタミビル耐性遺伝子変異が検出されています。

4 全国の流行状況



第16週(4月13日~19日)現在、秋田、長野、福井の3県がインフルエンザ定点当りの患者報告数10人を超える状況にあります。

東京(3.46人/定点)は全国で25番目になっています。

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/

次号発行は5月29日・今シーズン最終号の予定です。